



大王松

町田市立南第一小学校
学校だより

2018年4月6日 第1号

つなぐ、つなげる、つながっていく…

校長 清水 淳

新緑を透した日の光が降り注ぐ中、2018年度が始まりました。今年度は102名の1年生が入学し、全児童599名でのスタートです。眼前に広がる期待に胸膨らませた子供たちの笑顔は、学校の何よりのエネルギーです。今日の出会いを今後の充実した学校生活の始まりの日にするべく、教職員一同、気持ちを新たに本校ならではの教育の確立を目指し日々精進していきます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、「国語は得意だけど、算数は苦手」など、子供たちからよく聞かれる言葉です。果たして、本当でしょうか？いえ、嘘を言っているとは思いません。ただ、教科の間に線が引かれているように得意・苦手ということはあるのでしょうか。今日、入学した1年生の口から、そのような言葉は聞かれなと思うのです。全ての1年生は今、国語ってどんなことを学ぶのかな？算数は？など、興味津々、意欲に満ち溢れていると思うのです。このように考えると、本当に教科の間に壁はあるのだろうか、と考えてしまうのです。

実際、遠足などで自然の不思議に触れたとき、子供の発想は理科・生活科であり、質問は国語に関連します。給食のおかわりは、算数のひき算・わり算であり、分け合うことは道徳、具材は社会科、栄養は家庭科でしょう。休み時間のドロ警でも、体育科や作戦を立てる論理的思考など。子供は教科の枠など意識することなく、知らず知らずのうちにそれぞれを結びつけながら日々、学んでいると思うのです。

上記の子供たちを想像するとき、{元気に駆け回る} {風邪など引かない} {意欲的に活動が続ける} {諦めず最後までやり抜く姿勢} など、とても元気で、やる気に溢れている姿が思い浮かびます。そんな子供たちを育てていく教育とはどのようなものなのか、教職員で考えました。すると、「健全なる精神は、健全なる身体に宿る」の言葉が浮かびました。すぐに体力が関連する場面を書き出していくと {筋力・持久力など、運動面での体力} {風邪への抵抗力、ストレスに耐える力など、健康面での体力} {最後までやり抜く力、健全な判断など、心情面での体力} の3つの体力に分類することができました。

この3つを私たちは「真の体力」と捉え、子供たちに身に付けさせていく教育を展開していくことにし、今年度の本校の教育活動を示す「教育課程」を町田市教育委員会に提出しました。後日、町田市教育委員会から、2か年にわたる研究推進校の指定の通知が届きました。町田市教育委員会が本校の教育活動に関心を寄せ、子供たちのよりよい成長につながる教育活動を確立するよう期待してくれたのだと嬉しく思っています。

今年度から本格的に始まる研究ですが、教科と教科・活動をつなぐ授業を実施し、子供と全ての子供をつなげる活動を創造し、学校と保護者・地域がつながっていく教育を展開していきたいと考えています。昨年度に引き続き、「元気もりもりウィーク」など、皆様に御協力いただくことも予定しています。子供たち一人一人が、「真の体力」を身に付け、運動も健康も心も十二分に充実していけるよう昨年度同様の御理解御支援をお願いいたします。

